

R 8 年度 断熱改修の新サービス創出に向けたアクセラレータープログラム（新サービスの実証・事業化支援）

「断熱改修に関わる企業及びスタートアップ」 審査基準

審査基準				評価結果		
大項目		小項目	視点	評価者コメント	配点	
1	実現可能性	新サービスの組成・試行の実施状況	・企業とスタートアップが連携し、断熱改修に関する新サービスの組成・試行を既に実施しており、社会実装に繋がり得る成果が出ているか。			/ 5
		計画の具体性	・事業化に向けたスケジュール・具体的な計画が練られているか。 ・本プログラムへの応募に先立ち実施している試行結果（市場ニーズ・試作品開発等の検証結果）を踏まえた計画となっているか。			/ 5
2	課題の把握	リスク検討	・社会実装に向けたボトルネックなど、課題となる事項を認識し、対応策を検討しているか。 ・実証内容が現行の法規制等を踏まえて問題ないか。			/ 5
3	事業拡張性	市場規模・競合優位性	・創出を目指す新サービスが、断熱改修の担い手である工務店等の課題（断熱改修の促進や、人手不足、専門知識不足など）の解決に資するもので、該当する事業者等の利用が見込まれるか ・創出を目指す新サービスが消費者側の課題（断熱効果の認知不足、改修費用、業者選びの難しさなど）の解決に資するものであり、多くの都民の利用が見込まれるか			/ 5
		プロジェクト推進体制	・事業化後、継続的に市場に供給できる体制があるか ・継続的かつ安定的に市場へサービスを供給できる体制（人材・施工・供給網等）が具体的かつ現実的に検討されているか。			/ 5
4	本事業の理解度	本プログラムの目的理解	・新サービスが、本事業の目的（住宅の断熱改修の促進）の実現につながるものであるか。 ・断熱改修におけるどのプレイヤーの課題を、どのように解決するかが明確であるか。			/ 5
5	熱意・意欲	本事業に対するコミットメント	・本事業に対する意欲・コミットメントが高いか。 ・本事業によって創出された断熱改修の新サービスによって、ゼロエミッション東京の実現に向けた取り組みを加速させることが期待されるか。			/ 10
					0	/ 40